

デジタルトランスフォーメーション の加速に向けた課題の検討

DX推進政策のこれまでの考え方

- 産業界のDX推進は、企業の成長戦略そのものであり、**一義的には企業個社の問題**
- 企業においてDXが進まない理由としては、以下のような観点があげられ、結果として企業の行動変容に結びついてこなかった。
 - ①**デジタル技術の理解不足**（→専門家(ベンダ等)丸投げ、ビジネス変革が中途半端）
 - ②**社内IT部門**（唯一の知見者）と経営や他部門との**対話不足**（→レガシー温存）
- ✓ 企業の行動変容が進まない理由は、**生活習慣病のアナロジー**で理解できる。誰しも、一般論としてメタボよりも痩せていた方が良いことは分かっているし、生活習慣病の問題も分かっている。しかし、自分自身は健康だと信じている。
- ✓ 個々の行動を変容させるためには、**認識を入れ替えることと、周辺環境整備**が必要。
- ✓ そのため、**DX政策は、企業の内面への働き掛け（DX推進指標等）と、環境整備（デジガバコード等）の両面からの挟み撃ち**を行っている。
- ✓ しかし、企業行動は変容せず、健康診断でDやEになっても不健康自慢に終始している。優れた取組（銘柄企業等）は「自分とは無関係」と他人事感を持っている状態。

DX推進施策の展開

- DXレポートを出発点に、企業の内部・外部への働きかけを法整備を含めて実施

2018/9

2018/12

2019/7

2019/11

2020/5

推進に向けた法整備

情報処理促進
法の改正

情報処理促進
法の施行

企業の内発的なDX推進への働きかけ

DX推進
ガイドライン

DX推進指標
取締役会実効
性評価項目

ベンチマーク策定
PFデジタル化指標
PF変革手引書

DX推進指標
分析レポート

企業をとりまくステークホルダとの関係への働きかけ

デジタルガバナンス
コード策定の方向
性(報告書)

情報システム・モ
デル取引・契約
書(改正民法・ア
ジャイル)

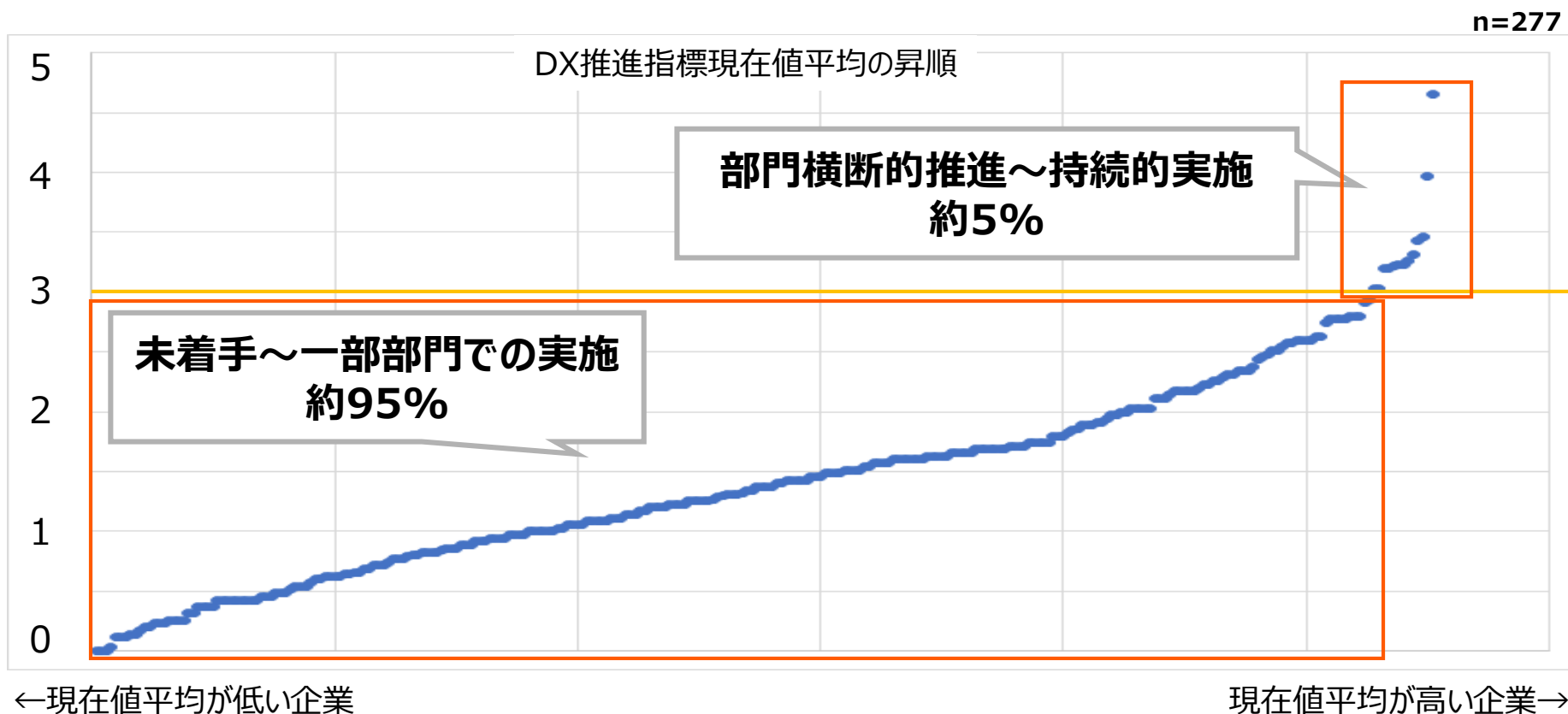
DX認定

デ
ジ
タ
ル
ガ
バ
ナ
ン
ス
・
コ
ー
ド

DXレポートから2年

- DXレポート発行から2年が経過した今般、デジタル変革に対する現状への危機感を持つ企業は増加しているものの、一部の先行企業を除き、**多くの企業はDXをまったく取り組んでいないか、取り組み始めたに過ぎない状況**
- 全社的な危機感の共有や意識改革のような取り組みにはいたっていない状況

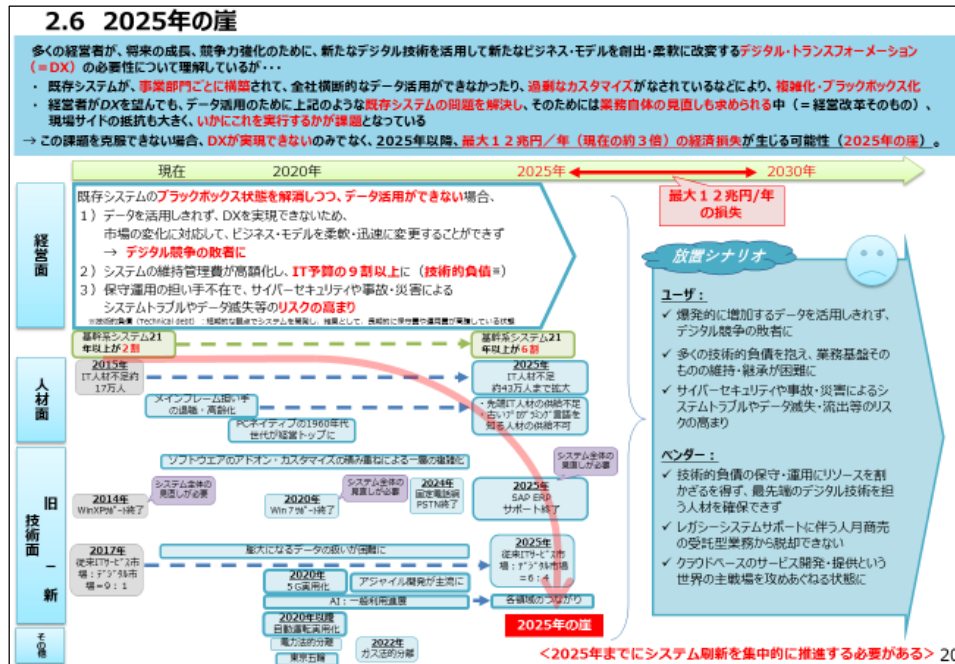
DX推進指標自己診断結果の分析レポートより



新型コロナウイルスの世界的感染拡大を受けて

- 新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により**企業の事業環境が激変**。ITシステムやインフラに関する機能不足が表出しており、**変化への対応は待ったなしの状況**となっている
- 企業は**DXに向けた対応を大幅に前倒しする必要があるのではないか**

DXレポート (2018年9月公表)



- ✓ 「2020年までの2年を準備期間として、その後5年をかけてシステム刷新を集中的に推進すべし」というメッセージ

COVID-19感染拡大の推移



1/30 WHO「国際的な緊急事態」を宣言

2/3 クルーズ船横浜港に入港

2/26 イベント等自粛の総理要請

2/28 小・中・高校等の一斉休校

3/24 オリパラ1年延期決定

4/3 全入国者の2週間待機要請

4/7 緊急事態宣言(7都府県)

政策出口の方向性を検討するための課題分析と今後の議論の流れ

- DXレポート以降2年が経過してもDXが進んでいない真の原因は何か
- DXを進めるために解決すべき課題は何か

今後の議論の流れ

第1回(本日)

論点の整理

- ✓ DXが進まない本質的な課題は何か
- ✓ DXを進めるために解決すべき課題は何か

個別のトピックに関しては
適宜WGを設置して議論

第2回(9月下旬)

政策の方向性の整理

- ✓ コロナ危機に対処するため直ちにに取り組むべきアクションは何か(デジタルソリューション等)
- ✓ 中長期的な対応をにらみつつDXを進めるために短期的に何をすべきか
- ✓ 本質的な課題を克服するための中長期的対応は何か

第3回(11月上旬)

中間とりまとめ